

| | | | | | | | | | |
|-------|-------------------------|---------|---|-----|---------|-----|-----|-----|------|
| 科目名 | 病理学概論 1 | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Overview of Pathology 1 | | | | | | | 学期 | 前期 |
| 学科・学年 | 鍼灸科 2年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 大下裕之 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | 鍼灸師 | | |

【科目の目的】
「病因」「循環障害」「退行性病変」「進行性病変」について学習する。そしてそれらが疾病の発症にどのように関わっていくのかを理解し、生理学や臨床医学各論と結び付け病態を総合的に理解できることを最終目標とする。

【科目の概要】
疾病の成り立ちを理解するために病因、循環障害、退行性病変、進行性病変など病理学の基礎について学びます。

- 【到達目標】**
- A. 病因の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - B. 循環障害の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - C. 退行性病変の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。
 - D. 進行性病変の定義・種類・特徴、疾患との関連などが理解できる。

【授業の注意点】
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 |
|----------|--|----------------------------------|--|-------------------------------------|---------------------------------|
| 到達目標 A | 病因の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。 | 病因の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。 | 病因の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。 | 病因の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。 | 病因の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。 |
| 到達目標 B | 循環障害の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。 | 循環障害の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。 | 循環障害の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。 | 循環障害の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。 | 循環障害の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。 |
| 到達目標 C | 退行性病変の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。 | 退行性病変の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。 | 退行性病変の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。 | 退行性病変の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。 | 退行性病変の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。 |
| 到達目標 D | 進行性病変の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性を理解し説明することが出来る。 | 進行性病変の定義、種類、特徴、そして疾病との関連性が理解できる。 | 進行性病変の定義、種類、特徴については理解できるが疾病との関連性は理解できない。 | 進行性病変の定義と種類は理解できるが、その特徴については理解できない。 | 進行性病変の定義は理解できるが、種類や特徴などは理解できない。 |
| 到達目標 E | | | | | |

【教科書】
病理学概論（医歯薬出版社）

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
中間試験・期末試験で評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | 病理学概論 1 | | | 年度 | 2026 |
|------|------------|-------------------------|------------|-------------------------|------|------|
| 英語表記 | | Overview of Pathology 1 | | | 学期 | 前期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 疾病の一般 | 疾病の一般を理解する | 1 疾病の分類 | 疾病の種類を理解し分類できる | 3 | |
| | | | 2 疾病の経過 | 疾病がたどる経過を理解できる | | |
| | | | 3 予後 | 予後の違いを理解できる | | |
| 2 | 内因について理解する | | 1 素因と体質 | 素因と関連する疾患を挙げることが出来る | 3 | |
| | | | 2 遺伝子異常 | 遺伝子異常が原因となる疾患を挙げることができる | | |
| 3 | 病因 | 外因について理解する | 1 栄養素の供給障害 | 栄養素の供給障害による異常を理解できる | 3 | |
| | | | 2 物理的病因作用 | 物理的病因作用を理解できる | | |
| 4 | | | 1 化学的病因作用 | 化学的病因作用を理解できる | 3 | |
| | | | 2 生物的病因作用 | 生物的病因作用を理解できる | | |
| 5 | 循環障害 | 充血・うっ血・虚血について理解する | 1 充血 | 充血について理解できる | 3 | |
| | | | 2 うっ血 | うっ血について理解できる | | |
| | | | 3 虚血 | 虚血について理解できる | | |
| 6 | | 出血について理解する | 1 出血の定義 | 出血の定義を理解できる | 3 | |
| | | | 2 出血の分類 | 出血の分類とその原因を理解できる | | |
| | | | 3 出血の種類 | 出血の種類を理解できる | | |
| 7 | | 血栓・塞栓・梗塞について理解する | 1 血栓症 | 血栓症について理解できる | 3 | |
| | | | 2 塞栓症 | 塞栓症について理解できる | | |
| | | | 3 梗塞 | 梗塞について理解できる | | |
| 8 | | 水腫・ショックについて理解する | 1 水腫 | 水腫について理解できる | 3 | |
| | | | 2 ショック | ショックについて理解できる | | |
| 9 | 退行性病変 | 萎縮について理解する | 1 萎縮の定義 | 萎縮の定義を理解できる | 3 | |
| | | | 2 萎縮の種類 | 萎縮の種類別の特徴を理解することが出来る | | |
| 10 | | 変性について理解する | 1 変性の定義 | 変性の定義を理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 変性の種類 | 変性の種類別の特徴を理解することが出来る | | |
| | | | 3 黄疸の病態 | 黄疸の種類と所見を理解することが出来る | | |
| 11 | | 壊死について理解する | 1 壊死の定義 | 壊死の定義を理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 壊死の分類 | 分類された壊死について理解することが出来る | | |
| | | | 3 死の定義 | 死の定義を理解することが出来る | | |
| 12 | 進行性病変 | 肥大について理解する | 1 肥大の定義 | 肥大の定義を理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 肥大の分類 | 分類された肥大について理解することが出来る | | |
| 13 | | 再生について理解する | 1 再生の定義 | 再生の定義を理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 再生の分類 | 分類された再生について理解することが出来る | | |
| 14 | | 化生について理解する | 1 化生の定義 | 化生の定義を理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 化生の分類 | 分類された化生について理解することが出来る | | |
| 15 | | 移植・創傷治癒について理解する | 1 移植 | 移植について理解することが出来る | 3 | |
| | | | 2 創傷治癒 | 創傷治癒について理解することが出来る | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等